

研修会 評価

テーマ	令和5年度 WLB 推進事業研修 WLB 推進事業に参加して、成果と現状とこれからを伝える				
領域	WLB 推進事業研修	会場	看護研修 センター	受講料	会 員：1,100 円 非会員：2,200 円
対象	ラダーレベルⅢ～Ⅴ 募集数（40 人） 応募数（24 人）受講数（23 人） 会員（22 人）非会員（1 人）				
日時	令和5年8月28日（月）13:00～16:30				
ねらい（目標）	WLB 推進事業に参加した県内 2 施設の取り組みから医療職の WLB の必要性や理解を深め、自部署の課題について考え、取り組むことができる。 1. ワーク・ライフ・バランスを推進するための取り組みについて理解できる 2. 自部署の課題を共有し、解決に向けた意見交換、情報交換ができる。				
講師	JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 副看護部長 五十嵐久美子 佐渡市立両津病院 地域医療部副部長 三好君江				
内容・方法	○講義内容：WLB 推進に向けた取り組みと成果について ○研修方法：集合研修 1. 講義 2. 演習 自部署のワーク・ライフ・バランス実現に向けた現状や課題の検討 委員がファシリテーターとして各グループに参加				
結果・評価 （受講者の意見・感想）	○評価方法：受講者アンケート 回収率 100% 1. WLB 取り組みの理解 「そうである」82.6%「ほぼそうである」17.4% 2. 研修は実務に活かせるか 「そうである」47.8%「ほぼそうである」43.5% 3. 課題解決に向けた取り組み実施 「そうである」26.1%「ほぼそうである」69.6% ・ ミッションを決め、諦めずに継続的に取り組むことが大切であると感じた ・ 新たな気づき、発想の転換になるきっかけになったような気がします ・ 施設規模や状況の異なる受講者が検討することにメリットを感じない				
企画の評価	○目標・内容 アンケート結果から目標は達成できた。超過勤務、年次有給休暇の取得、離職等、多様な現場の問題について共有、検討し、取り組みの継続が成果につながることを学ぶことができた。 ○プログラムの妥当性 課題解決に向けた取り組みは 95.7%が「できそう」と考えているが、グループワークの検討が深まらずプログラムの検討が必要である。 ○事前準備・当日の運営など 特に問題なし				
課 題	応募数が少なく研修内容、プログラムの検討が必要である。				
担当者	労働環境改善推進委員会				